

行政視察報告書（創生会）

提出日： 令和7年8月7日

議員名	広瀬和彦、棗田澄子、三藤毅、本谷宏行、福田勉、真田光夫
日時	令和7年8月7日（木） 9:00～10:30
相手先・場所	広島県東部建設事務所
内容	府中市域事業について
成果・所感等	
(1) 取り組み内容（聞き取り内容）	広島県東部建設事務所にて、府中市域における令和7年度の建設事業について説明を受け、意見交換を行った。市域における道路・河川・砂防・街路・住宅の各事業費の合計は約14億円。特に府中南北道路（栗柄広谷線）の整備に10億7千万円が充てられており、全体事業費は98億円に及ぶ大規模事業である。河川改修や災害復旧、インフラ老朽化対策としてのアセットマネジメントも重点的に取り組まれている。また、個別の質疑では信号設置、河川浚渫、用地買収の進捗、通行止めの影響などについて具体的な回答があった。
(2) 意見交換で感じたこと等	今回の視察（意見交換）を通じて、府中市域における広域的かつ長期的な社会資本整備の重要性をあらためて認識した。中でも府中南北道路整備事業は、地域の交通利便性と安全性向上に寄与する極めて重要なプロジェクトであり、着実な進行が求められる。また、インフラの老朽化対策に向けた計画的なアセットマネジメントの導入は、市民生活の安全・安心の基盤となるものであり、今後の財政や人材確保を見据えた持続的な運用が鍵となると感じた。
(3) 取り組み内容（聞き取り内容）	2025 広島県農林水産業アクションプログラム概要 基本理念：「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」 計画期間：令和3年度～令和7年度（5年間） 広島県東部農林水産事務所にて、「2025 農林水産業アクションプログラム」や府中市域における令和7年度の事業について説明を受け意見交換を行った。 基本理念は「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」であり、農業・畜産業・林業・水産業それぞれの分野で担い手育成、スマート化、基盤整備が進められている。 府中市域の主な事業として、県営では巳之口池の改修や治山事業等に約4.5億円、団体営では矢谷池改修、小規模崩壊地の復旧、森林整備などに約1.77億円が充当される。 また、東部農業技術指導所ではスマート農業導入や作物指導、畜産事務所では広島和牛ブランドの強化や担い手育成が進められている。

企業参入に関する質問では、府中市域は参入ゼロであり、PR 不足や農地取得の課題が指摘された。県はマッチング支援や農地貸借制度の活用を勧めている。

(4) 意見交換で感じたこと等

府中市の農林水産業が直面する担い手不足や高齢化、農地集積の課題が改めて浮き彫りとなった。一方で、スマート農業や企業参入の推進といった前向きな取り組みも進められており、これを府中市域でも加速させる必要があると感じた。

特に企業参入促進については、市独自の PR 活動や地元との調整支援が不可欠であり、農地取得の柔軟化や貸借制度の活用など制度面でのサポートも求められる。治山・治水やため池改修といった防災関連事業も地域の安全に直結する重要施策であり、今後も県・市・地域が一体となって事業推進に取り組むことが重要だと感じた。